

進路ニュース

令和6年6月7日発行

振り返りは必要だが、後悔は不要！

高校総体や中間考査が終わり、6月になって、1学期も残り半分になりました。1年生も、ようやく高校生活に慣れてきたところではないでしょうか。一定のリズムで生活すれば、ストレスが最も少なく済みます。1年間リズムを崩さずに過ごしましょう。

今年度の高校総体では、総合順位が昨年度の7位から5位に2つ上がりました。参加した生徒は、本当によく頑張ったと思います。その中で、試合に負けて悔しい思いをした生徒もいると思いますし、優勝せずとも自分の目標を達成して満足している生徒もいると思います。

ここで大切なのは、良くても悪くても結果を分析して、次に活かすことです。

より良い結果になるには、どうしたらいいのか。準備を早めればいいのか、やり方を改善すればいいのか、より綿密な計画を立てればいいのか、もっと詳細まで対戦相手の分析をすればいいのか、など。準備段階から振り返って分析し、次への方策を考えることが重要です。

勉強は、インプットとアウトプットの繰り返しです。模試や考査、実力テストなどを受けたら、必ず復習して、次の方策を考える。そして、次のテストを受ける。まさに、部活動での振り返りと同じです。1学期の期末考査が、6月25日（火）から4日間に行われます。当然、科目数も負担も増えます。中間考査の反省を活かし、良い結果になるように準備してください。

また、受験年度を迎えた3年生の中には、焦りから勉強に手が付かない、何から始めればいいのか分からず途方に暮れている生徒が見受けられます。1・2年生の時にもっと基礎基本をやっておけば良かったという後悔をしている生徒もいるようです。

後悔する暇はありません。3月には入試が終了します。冷静にテスト結果を分析して、どの科目に力を入れなければならないのか、どの分野を苦手としているのか、を考え、自分の弱点を克服することに努力してください。そして、がむしゃらに勉強してください。

1・2年生は、3年生になってから受験勉強が始まると思わないでください。受験勉強は、1年生から始まっています。1年生は、国数英の基礎固めと理社も含めた得意科目の作成、2年生は、受験を意識した弱点分野の克服、3年生は、本番を見据えた受験科目の応用力の強化になります。

現在、共通テストは、科目数も問題数も増加傾向になっています。情報Ⅰが加わったために国立大学に合格するためには、1000点満点の試験を受ける必要があります。1・2年生で特に何もせず、3年生から本格的に勉強を始めても、共通テストで高得点を取ることは非常に困難です。

限界を決めてしまえば、それ以上伸びません。高きを仰ぎ、最善を尽くしてください。

諦めずに頑張りが続けることが大事です。自分の力で未来を切り開いてください。

沼田高校の全生徒の頑張りに期待します。